

若者が希望もてる社会に

山添拓参議院東京選挙区 予定候補ら実態調査発表

山添拓弁護士（日本共産党参議院東京選挙区予定候補）と日本民主青年同盟東京都委員会は5月31日、参議院会館で会見し、若手弁護士有志や青年らと協力して行った10代から30代の労働実態調査の中間まとめを発表しました。吉良よし子参院議員も同席しました。（右写真）



3年以内に辞めたい32%
賃金に不満70%

「10～30代労働実態調査」から

3年以内に辞めたい 32.3%	その他	定年まで続けたい 20.2%	わからない 39.2%
サービス残業ある 41.7%		サービス残業なし 58.3%	
賃金に不満 70.8%		満足 29.2%	

調査全体は550人。比率はうち社会人395人の中の割合

調査結果の主な内容は左グラフの通りです。


山添氏は「中身を聞くと、長時間労働で賃金が上がらず、将来に展望が見えない実態がわかった。労働者が経験を積む間もなく離職していく状況は、企業にとってもよくない」と指摘しました。

山添氏らは、この調査をもとに、長時間労働規制や、最低賃金をいまずどこでも時給1000円にし1500円をめざすことなど厚生労働省に要請しています。

また、山添氏は長時間労働や低賃金などの「ブラック」な職場実態を変え、若者が希望もてる社会にするよう提言を発表しています。

提言はホームページからダウンロードできます→





ブラックな働き方を変えます!!

日本共産党をはじめ4野党は長時間労働規制法案を国会に提出しました。一方、安倍政権は長時間労働をさらにひどくする残業代ゼロ法案を出しています。ブラックな働き方を変えるため、一貫して「ブラック企業」問題を取り上げてきた日本共産党を、東京で大きく伸ばしてください。

参議院(東京選挙区)予定候補 弁護士・31歳

山添拓

やまぞえ・たく

日本共産党を伸ばしてください

東京民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2016年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党